



くすの木

基本理念：地域に信頼され親しまれる病院を目指します。

野村病院だより「くすの木」は、管理栄養士による「ヘルシーレシピ」や病院スタッフの紹介など野村病院や健康に関する情報満載の季刊誌です。

外来診療担当医一覧

科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	藤井	森		関藤	羽田	石原
	午後	石原	森	石原		松本	
循環器科	午前	中山		泉	近藤	東	
	午後						
外科	午前	井上	井上	右近	井上・右近・吉屋		井上
	午後		右近			右近	
乳腺 <small>女性医師不在時は男性医師が代診 しますのでご了承ください</small>	午前		木村			木村	
	午後						
整形外科	午前			作田		藤岡	三藤
	午後	庄司					
皮膚科	午前	野村 (第1・3)	野村	野村		野村	野村
	午後	野村 (第1・3)	野村	野村		野村 (第1・3)	
神経内科パーキンソン専門外来	午前						森野 (第2・4・5)
脳神経外科	午後		広島大学 (16:00まで)			木下 (16:00まで)	

外来診療のご案内

- 内科(消化器・循環器・呼吸器・内分泌・神経・内視鏡)
- 外科(消化器・肛門・乳腺・呼吸器)
- リハビリテーション科 ●皮膚科 ●麻酔科
- 脳神経外科 ●整形外科

受付 TEL 082-875-1111
受付時間/午前8:30~12:00 午後13:00~17:00

午前中の診療は予約制です。ご予約のない患者様は担当医以外の診察となる場合がありますのでご了承ください。

総合診療科 診察時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 14:00~17:00	○	○	○	休	○	休	休

※ただし初診および急患は予約の有無に限らず随時診察いたします。

アクセスMAP



- 広交バス「祇園出張所前」下車・徒歩6分
- 可部線「下祇園駅」下車・ゆめタウン方面へ徒歩6分



Vol.76
2017.4

「別れと出逢いの春」

春風が心地よいこの頃、うららかな日差しに身も心も踊る季節となりました。ふと気づけば、色とりどりの花が咲き、春の訪れを感じますね。

この度、デイサービスセンター「ぎおん」では、この春の季節に合わせて利用者様と作品を制作しました。

題名にもあるように、春は別れと出逢いの季節でもあり「卒業、入学」をコンセプトに制作致しております。

新年度に向けて、夢や希望を膨らませ新しい一歩を踏み出そう!! そんな願いをこめて制作しました。

本年度も皆様に新たな一歩がありますように…。



この度、職員も協力し、真鍮製のランドセル(2.5cm×1.5cm)を制作しました。裏側には「NOMURA」の刻印を打っています。興味のある方は「ぎおん」までお訪ね下さい。

(野村病院デイサービスセンター「ぎおん」 利用者・職員一同)

教えてドクター
免疫のお話

今回は、生物にとって重要な、免疫に関する話です。高度な免疫システムにより、「自己」と「非自己」を見極め、外界からの異物の侵入を防ぐシステムをヒトは持っています。皆さんも、一緒に勉強しましょう。



内科医
石原 浩人

◎免疫(めんえき)とは

免疫とは「病気(疫)免(まぬが)れるためのしくみ」です。からだは免疫と言う組織を持っているために、簡単に病気にはなりません。生体は、自分のからだと同じものを「自己(じこ)」、異なるものを「非自己(ひじこ)」として認め、区別します。そして、生体は「非自己」が体内に侵入してきた場合のみ、これに反応して、排除しようとする。この場合の「非自己」を抗原(こうげん)といいます。そして、抗原の侵入にたいするこのようなからだの反応を、免疫応答(めんえきおうとう)といいます。万が一、自分の免疫応答が破綻し、「自己」であるものを「非自己」と誤って認め、それを排除しようとする動きがおこると、自己免疫疾患になってしまいます。

◎免疫応答(めんえきおうとう)のしくみ

・非特異免疫(ひとくいめんえき)

からだに細菌などの異物(いぶつ)が侵入すると、これを取り込み、消化(貪食(どんじよく))する細胞があります。このような細胞を食細胞(しょくさいぼう)といい、多核白血球(たかくはつけきゅう)とマクロファージ(大食細胞(たいしょくさいぼう))の2種類があります。どちらも異物を消化・排除しようとする。

「非自己」の代表であるウイルスや細菌が感染したり、あるいは腫瘍化(しゅようか)した細胞などに対しては、ナチュラルキラー(NK)細胞と呼ばれる細胞が働き、これを傷害あるいは殺して排除しようとする。

ただし、これらの反応は速やかに起こりますが、それほど強力なものではありません。抗原の種類に関係なくおこる原始的な反応で、相手を選ばないので、非特異免疫とも呼ばれます。

・特異免疫(とくいめんえき)

異物である抗原が、からだの中に入ると、まずマクロファージ(大食細胞)に取り込まれます。マクロファージは、抗原を細胞内に取り込んだのち、これをばらばらな断片にしたうえで、

その情報をリンパ球に伝えます。リンパ球細胞では、その情報に基づいて、抗原とぴったりかみ合う鍵(かぎ)と鍵穴(かぎあな)のような構造を表面にもっています。(抗原レセプター)。そして、断片になった抗原を識別して結合し、非自己であれば攻撃を開始し、体内から排除するように作動します。

リンパ球には、T細胞とB細胞の2種類があります。T細胞は、後述しますが、遅延型(ちえんがた)のアレルギー反応にかかわったり(感作(かんさ)T細胞)、ウイルスに感染した細胞を殺したり(キラー T細胞(さいぼう))、抗体をつくるB細胞のはたらきを強めたり弱めたりします。

ちなみに、抗体をつくるのを助ける細胞はヘルパーT細胞、抗体をつくるのを抑える細胞はサプレッサー T細胞と呼ばれます。一方、B細胞の役目は抗体をつくることです。

T細胞がかかわる免疫反応は細胞性免疫(さいぼうせいめんえき)、B細胞がかかわる免疫反応を液性免疫(えきせいめんえき)といいます。これらの反応は、いずれも特定の抗原に対してだけおこる特異なもの(特異免疫)であり、きわめて強力です。

からだは、このような非特異免疫と特異免疫の2つの機構によって、外界からの異物の侵入に対抗しています。

◎自己免疫疾患(じこめんえきしっかん)とは

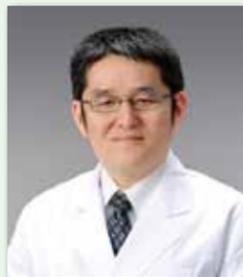
免疫とは、外からの異物(いぶつ)(自分のからだ以外のもの=非自己)の侵入を排除し、自分自身(=自己)を守るために、からだに備わっているしくみ(生体防御反応(せいたいぼうぎょはんのう))です。

正常であるならば、自己(自分のからだ)に対して、免疫反応がおこることはありません。

しかし、自己と非自己の区別がつかなくなり、自分自身の細胞やたんぱく質などを異物とみなして反応する抗体やリンパ球ができて、自分のからだの一部を攻撃したり排除しようとし、その結果、さまざまな病気がおこることがあります。

このように、自分自身にたいする免疫反応の事を自己免疫といい、自己免疫がもとになっておこる病気を自己免疫疾患と呼びます。即ち、自己免疫疾患は、本来なら攻撃してはいけない自分自身を攻撃してしまう病気のことであり、例えば気管支喘息、慢性関節リウマチ、自己免疫性肝炎、など、多種に渡っての疾患があります。

紙面が足りなくなったので、今回は基本的な事に触れました。基本的でも、我々ヒトが生きていく中で、重要なシステムが構築されているのです。機会があれば、また一緒に勉強しましょう。



新任医師の紹介

外科・消化器外科

外科部長 **右近 圭**

平成29年4月1日付で着任された外科部長の右近 圭医師です。

出身大学：広島大学
専門領域：外科、消化器外科
医学博士
日本外科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器外科学会専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

いっき いっき ヘルシーレシピ

甘くないフレンチトースト

〈材料(2人分)〉 1人分：378kcal 脂質13.2g たんぱく質19.0g 食塩1.5g

- ライ麦食パン…… 5枚切り2枚
- A●牛乳…… 1カップ
- A●卵…… 2個
- A●粉チーズ…… 大さじ1
- A●はちみつ…… 小さじ1/2
- A●黒こしょう…… 少々
- ハム…… 2枚
- ミニトマト…… 3個
- オリーブオイル…… 小さじ1/2

〈作り方〉

- ①食パン、ハム、ミニトマトは4等分にする。
- ②耐熱容器にAを入れてよく混ぜ、食パンを浸す。電子レンジで約30秒間加熱し、食パンにAを吸わせる。
- ③火にかけてフライパンにオリーブオイルを入れ、ハムをのせた②を焼く。
- ④両面色よく焼いたら、器に盛り付け、軽く焼いたミニトマトを散らして完成。



パンには塩が含まれているので、ご飯より塩を摂りすぎずまいがち。パンにぬるバターや、おかずの味付けを控えめにすると○ライ麦パンは、白いパンより食物繊維やミネラルが豊富なので、野菜不足の時にもおすすめです。



管理栄養士
山本 智美

合同作品展を開催します

場所 **フジグラン緑井4階**

期間 **平成29年**

4月14日(金)~4月27日(木)

毎年行われる、合同作品展へ向けてデイサービスセンター「ぎおん」では利用者様と「ペーパークイリング」という作品を制作しました。細く切った色紙を丸め、絵画へと完成していきます。

利用者様はピンセットを巧みに使い、絵を丸めていきますので脳機能の活性化が期待されます。

また、利用者様の個人作品なども発表しておりますので皆様、お時間が許される限り是非、作品展へ足を運んで頂ければと思います。



ボランティア募集

※詳細は担当者にお問い合わせください。

デイサービスセンター「ぎおん」 TEL.(082)832-3857
通所リハビリテーション TEL.(082)832-2255